

図書館だより

NO. 198 2014年10月号
(2014年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

雑誌と図書のリサイクル市

保存期限の過ぎた平成24年分週刊誌、平成23年分のその他雑誌を無料でお持ち帰りいただける「雑誌と図書のリサイクル市」を、10月26日(日)に行います。

日時 10月26日(日) 10時~ ※無くなり次第終了
場所 廿日市スポーツセンターサンチェリー
(はつかいち環境フェスタ2014会場)

- ※お一人につき10冊まで。
- ※子ども向け雑誌等、永年保存の雑誌は対象外です。
- ※本を入れる袋をご持参ください。
- ※会場は土足禁止です。靴を入れる袋をご持参ください。



今月の展示



《中央展示》

『図書館で見つける秋』

秋の食べ物や植物、行事など秋に関するものの本を集めました。

絵本や料理本、写真集など、いろいろな年代の方が見て楽しんでいただけるように工夫しています。ぜひ読んでみてください。

※8月20日~26日(土日除く)に職場体験に来た中学生が準備しました。



《さくらびあ展示》

『伝統工芸の燈(ともしび)』

はつかいち美術ギャラリーで10月2日(木)~26日(日)まで、「広島伝統工芸作家 ともるかい 燈会展—瀬戸内」が行われます。この展示会に併せて、陶芸・漆芸・七宝などの資料を集めています。

《企画展示》

『語学力を高めよう』

東京オリンピックの開催、日本人選手の海外進出、小学校からの英語教育の導入など、日本語以外の語学力が求められる時代になりました。この機会にあなたの語学力も高めてみませんか。

展示期間：9月26日(金)~10月22日(水)

子ども司書養成講座「秋の活動」が始まりました

廿日市市教育委員会主催で、市内の小学6年生を対象に、平成26年度「子ども司書」養成講座が実施されています。

9月6日（土）に2回目の全体研修が行われ、絵本の読み聞かせ方や、おはなし会のプログラム作りについて学びました。



読み聞かせの練習をしています

おはなし会のプログラムを考えています



今回「仮認定証」をもらった子ども司書たちは、これから学校や地域の図書館で「秋の活動」を行います。他の子どもたちに読み聞かせをしたり、おすすめの本を友達に紹介したり、図書館の掲示物やコーナーを工夫するなど、様々な活動を行っていく予定です。

*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『読む力が未来をひらく』 脇明子/著 岩波書店 019.2/7 (児研)
- 『女子の人間関係』 水島広子/著 サンクチュアリ出版 143.5/ミ
- 『イチから知りたい!家紋と名字』 網本光悦/著 西東社 288.6/7
- 『英国一家、ますます日本を食べる』 マイケル・ブース/著 亜紀書房 383.8/7
- 『日本の地震地図』 岡田義光 /著 東京書籍 453.2/オ
- 『広島のおいしい愛されランチ 14-15』 ザメディアジョン/編 ザメディアジョン 596/ヒ (県資)
- 『ゼロから始めて確実に夢を叶える農業起業』 蓮見よしあき/著 みらいパブリッシング 611.7/ハ
- 『広島カーブ論』 赤坂英一/著 PHP研究所 783.7/7 (県資)
- 『京大院生が書いたイメージでつながる英熟語』 佐々木英晃/著 デイカガアートウエンティツ 835.6/サ
- 『明日は、いずこの空の下』 上橋菜穂子/著 講談社 914.6/ウ
- 『竜鏡の占人』 乾石智子/著 KADOKAWA F/I
- 『ハケンアニメ!』 辻村深月/著 マガジンハウス F/ツ
- 『スタープレイヤー』 恒川光太郎/著 KADOKAWA F/ツ
- 『荒神』 宮部みゆき/著 朝日新聞出版社 F/ミ
- 『天(そら)の梯(かけはし)』 高田郁/著 角川春樹事務所 BF/タ



新刊

こどものほん



『ここにいるよ! ナメクジ』

皆越ようせい/写真・文 ポプラ社 484/ミ

雨の日や湿った場所など、私たちの身近にいるナメクジですが、その生態は分からないことが多い動物です。

大根おろしのような歯舌しげつを使って食べるので、ギザギザ模様の食べ跡が残ります。ナメクジにはオスとメスの区別がなく、すすしくなってきた秋の夜、2匹がくっついて卵のもとを交換します。そして春に2匹とも、頭の方にある穴から卵を産むのです。卵から赤ちゃんがかえる様子なども分かりやすく紹介した写真絵本です。

ミニブックトーク

ココロや希望も列車にのせて

10月14日は鉄道の日。汽車や列車は私たちを目的地まで運んでくれるだけでなく、楽しい気持ちにさせてくれたり、夢や希望も運んでくれるようです。『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』を読んで大きくなった皆さんに、汽車や列車にまつわる本を紹介します。(小学校高学年以上対象)

最初は、機関士を夢みる男の子が主人公の冒険ファンタジーです。小さな島国・フクラム国に、ある日謎の小包が届き、中にはなんと赤ちゃんが入っていました。その子はジム・ボタンと名付けられ、やがて親友の機関士ルーカスと機関車エマに乗り、機関士として働ける大きな国を探しに旅へ出ます。そして漂着したマンダラ国で、竜の国にさらわれたお姫さまの話聞き、その犯人がジムの小包の送り主と同じだという事実を知ります。さて、ジムの秘密とお姫さま救出はいかに！(①)

機関車エマは船になったり、竜に変装したりしますが、九州を走る新幹線「つばめ」や寝台特急「ななつ星」は一人のデザイナーによって、今までの列車にはなかったホテルのような車内空間、個性的なデザインで注目を集める列車に変身しました。そこには金箔や漆などの伝統技術や、熊本県産のい草を使った暖簾、有田焼の洗面台、京都の西陣織の座席など日本の伝統工芸品を数多く取り入れています。子どもたちには新しく、年配の方にはどこか懐かしい車両づくりによって、豊かな気持ちや対話を生む列車にしたいというデザイナーの水戸岡さん。皆さんもその列車に乗って、笑顔と笑いが生まれるというデザインを体感してみませんか。(②)

鉄道にまつわる人々との出会いによって笑顔と勇気、そして希望を得た3人のきょうだいがあります。ポビー、ピーター、フィリスの3人は両親とロンドンの街で何不自由なく暮らしていましたが、ピーターが10歳になってすぐ、父親が行方不明になり、母親と田舎に引っ越すこととなります。不安と寂しさの中、いつも対等に話をしてくれる駅員のパークスさんや、毎日列車の中から手を振ってくれる“九時十五分のおじいさん”との交流が力を与えてくれます。そして3人も勇気と知恵を振り絞って、列車を脱線事故から守ったり、行き倒れのロシア人を助けたりと大活躍するのです。(③)

①『ジム・ボタンの機関車大旅行』ミハエル・エンデ/作 上田真而子/訳 岩波書店 943/E (シリーズあり)

②『ぼくは「つばめ」のデザイナー 九州新幹線800系誕生物語』水戸岡鋭治/著 講談社 536/ミ

『電車をデザインする仕事 「ななつ星 in 九州」のデザイナー水戸岡鋭治の流儀』水戸岡鋭治/著 日本能率協会マネジメントセンター 536/ミ (一般書)

③『鉄道きょうだい』E.ネズビット/著 中村妙子/訳 教文館 933/ネ

※『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』バージニア・リー・パートン/ぶんえ むらおかはなこ/やく 福音館書店 E/ハ

第24回廿日市市生涯学習フェスティバル共催事業



大人のためのストーリーテリング

「ストーリーテリング」とは、語り手（ストーリーテラー）が、昔話や創作の物語を覚えて語り聞かせるおはなし会のことです。

絵本を使ったおはなし会とは違って、聞き手のみなさんは語り手が語るおはなしの世界を、頭の中に思い描いて楽しむのがストーリーテリングの魅力です。この機会にぜひご参加ください。

日時 平成26年11月8日（土）14:00～15:30

場所 さくらびありハーサル室

対象 中学生以上

定員 40人（先着順）



《申込方法》

はつかいち市民図書館へ直接、または電話でお申込みください。

はつかいち市民図書館 TEL (0829) 20-0333

10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ◎	4
5	6	7	8	9	10	11 ★
12	13	14	15	16	17 ◎	18
19	20	21	22	23	24	25 ★
26	27	28	29	30	31	



◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。

